

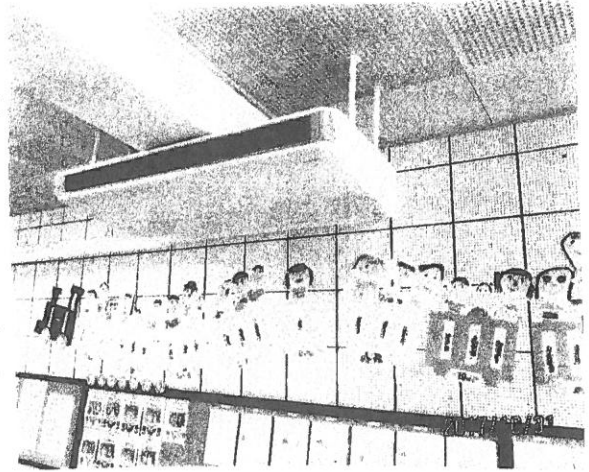
“暑い、暑い39度” 緊急事態！

県立高校の空調機設置の必要性を訴える

鎌ケ谷市では、平成26年度全小学校、平成27年度全中学校の普通教室、特別教室に空調設備の設置が完了しています。(100%)

私は当時、ある子供の意見に耳を傾け積極的に空調設備設置の行動に移しました。

「先生たちは、休み時間になると教室は暑いから、クーラーが付いている職員室に逃げちゃうけど、僕たちは教室にいるから授業中も休み時間も死にそうなんだよ・・・」と私に言ってくれました。



しかし、職員室に行ってしまう先生が悪い訳ではありません。教室にも空調機が設置されていれば、先生も休み時間に子供達とコミュニケーションが取れるし、より良い授業を進められる！それを望んでいる先生が沢山いました。学習環境＝職場環境の関係です。

市役所、公民館、図書館等の公共施設には空調機が付いています。学校だけ、子供に不公平だから先生達も暑いのは我慢してくださいと言うことは間違っています。子供達も、先生も、より良い環境で学校生活を過ごせることがお互いに良いことです。

そこで、鎌ケ谷市や教育委員会などに空調機設置について話をすると、当初は「暑いのを我慢することで子供は忍耐力が養われる」「私たちが子供の頃には扇風機も無かった」「クーラーは体に悪い」「電気代がかかる」「維持費がかかる」「贅沢だ」などなど・・・設置しないための言い訳ばかりで肯定的な意見を言ってくれる人は僅かでした。

私は、あきらめず丁寧に時間を掛けて空調設備設置に向けて賛成する人を増やすために、文部科学省の指針や気温の資料、他の市区町村の設置状況、**実際に学校へ訪問して教室の室温がどの様になっているのか**を調べて、いろいろな方へ説明し、鎌ケ谷市の小中学校に空調機を設置することが実現出来ました。

しかし、私は千葉県議会議員です。鎌ケ谷市だけが良ければそれで終わりでは無く、千葉県内の学校環境をより良いものにする責任があります。

平成25年6月から千葉県議会において、継続的に**県立高校の普通教室全部に空調機を設置するよう要望**し質問をしています。未だに千葉県では県立高校の普通教室に千葉県の予算で空調機を設置していません。

空調機が設置されている県立高校は125校のうち82校(平成25年)の普通教室に空調機が設置されていますが、**保護者の負担で保護者から要望があれば設置許可**をしますと言った具合です。千葉県庁には空調機が全館に設置されているのに、学校には設置しないのでしょうか？公共施設で空調機が千葉県の予算で設置されていない建物は、学校だけです。

千葉県の答弁は「県教育委員会では、県立学校に対して、学級担任等が室温の変化に留意し、**教室や廊下の換気を適宜行い**、室温管理に努めるよう指導しております。また、児童・生徒の健康状態を確認し、**服装や活動に配慮する**よう指導しているところでもございます」です。

答弁と矛盾！県立学校空調設備整備事業と称し、平成29年度当初予算で千葉県は、職員室等管理諸室(設計4校、リース20校)に空調機を設置。(千葉県全体の予算の0.03%を使用)←子供たちはどうなる？やはり、空調機が必要なことを千葉県は認めたか？

教室や廊下の換気をして、半袖で過ごしても汗が噴き出してノートも教科書もボロボロ。こんな環境で勉強をしていることが適切な学習環境なのでしょうか？

毎日のニュースでは熱中症対策のためにクーラーを付けて過ごす。水分を小まめに摂取するように呼び掛けられており、学校では熱中症による死亡事故まで起きてしまっています。室温30℃以上にもなる猛暑の教室に、**お弁当を朝から昼休みまで常温で置いておいたら食中毒の恐れも懸念**されます。子供達は登校したら冷蔵庫にお弁当を入れて置けないのです。

事故が起きてからでは遅いのです。すべての県立高校に県の予算で空調機設置を要望して行くとともに、子供や先生が一日も早く安心安全な学校生活を過ごせるよう多面的に活動をしていきます。

子供の素直な意見を聞いて行動に移したことは私の活動の良い教訓となりました。